

2020 年度（令和2年度）学校評価自己評価表

校番 1	福山市立鞆の浦学園
最終更新日	2020年（令和2年）4月1日

No. (1)

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。  
 ビジョン 「福山100NEN教育」の理念のもと、各中学校区・学校は「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 自校

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校が進めている取組内容について、概ね肯定的な評価をいただいた。</li> <li>• 開校2年目も引き続き、児童生徒のために積極的に取組を進めていくことを期待される。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>①</p> <p>めざす 子ども像</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p>	<p>① 課題発見・解決能力 ② 情報活用能力 ③ コミュニケーション能力 ④ 郷土愛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• 物事を多面的に見たり、これまでの経験や知識を活用したりする中で、新たな課題を発見することができる。</li> <li>• 多様な他者と協働したり、よりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出したり実行したりすることができる。</li> </ul> </li> <li>②                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• 適切かつ効果的な情報を収集できる。</li> <li>• 収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて、目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。</li> <li>• 多様な他者を相手とし、情報と関連付けてより効果的な方法で発信できる。</li> </ul> </li> <li>③                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多様な他者と互いに考えを認め合いながら、協働することができる。</li> <li>• 多様な他者と協働することで新たな考えを創造し、適切かつ効果的な解を導き出すことができる。</li> </ul> </li> <li>④                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• 鞆のよさや課題を理解した上で、解決策を考えることができる。</li> <li>• 世界的な視野で、鞆のよりよい町づくりに貢献できる。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>ミッション</p> <p>前期課程・後期課程の連携を強化するとともに、義務教育9年間の一貫した教育を推進し、将来の日本やふるさと福山を支え貢献する人材を育成する</p>		<p>教科等</p> <p>研究</p> <p>主題 内容等</p>	<p>外国語学習、鞆学（総合的な学習の時間）</p> <p>「教科・学年の枠を超え前期・後期課程の一体的な教育内容と教育体制の確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自ら考え学び続ける授業の創造 ～21世紀型“スキル&amp;倫理観”の育成～</li> <li>• カリキュラムマップを活用し、単元構想力と授業実践力を追究</li> </ul>
<p>学校教育目標</p> <p>郷土福山を愛し、心身ともにたくましく意欲を持って主体的に学ぶ子どもの育成          ～ ふるさとの自然、人、歴史、伝統、文化に触れながら、学びをつなぎ深める ～</p>			<p>めざす授業の姿</p>
<p>現 状</p> <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「住んでいる地域のことが好きである」前期課程 91.9%、後期課程 96.5%</li> <li>• 清掃活動や学校行事等の異学年交流で、上級生は下級生の手本になろうとする意識や優しさが見られる。下級生は上級生に対して憧れを抱いている。</li> <li>• 基本的な生活習慣や学習習慣が、十分に身に付いていない児童生徒がいる。</li> <li>• アンケート調査「自分の考えは認められている」の肯定的評価は、前期課程 79.6%、後期課程は 84.2%である。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前期課程、後期課程の教員が乗り入れ授業や合同授業を実施しており、効果があった単元はカリキュラムマップに明記している。</li> <li>• アンケート調査「授業で考えることは面白い」の肯定的評価は、前期課程 76.5%(85.9%)、後期課程 83.3%(91.2%)である。※( )内は昨年度</li> <li>• アンケート調査「授業がよく分かる」の肯定的評価は、前期課程 94.3%(89.0%)、後期課程 85.7%(88%)である。※( )内は昨年度</li> </ul>			

Ⅲ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鞆の浦学園

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	力% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力% 評価	達成 評価	総合 評価
2	自ら考え学ぶ授業づくりを進めて、学ぶ意欲と基礎学力を向上させる。	★	見直し	児童生徒、教職員一人一人が学びの成長記録を手に入れることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒自身が「考えることは面白い」と実感できるように、学習方法や学習形態等を工夫する。</li> <li>「わかった、できた」「もっとやりたい」等の声がする、意欲を持って学べる評価を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒アンケートによる「授業がよく分かる」「授業で考えることは面白い」等の肯定的評価85%以上</li> <li>例えば、「成長ノート」で学びの発見や驚き等を記録し、授業の成果物や作品展等に積極的に応募</li> </ul>								
2	ふるさと「鞆」、ふるさと「福山」への愛着と誇りを育てる。	★	見直し	SDGsと結び付け、ふるさとについて、自分で活動を選び行動することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鞆学を中心に、全教科・領域でSDGsに関連したカリキュラムを開発し実践する。</li> <li>児童生徒が自ら考え、挑戦し続けるよう、互いの頑張りを認め合う具体策を各自が設定し取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒アンケートによる「住んでいる地域のこと好きである」の肯定的評価90%以上</li> <li>児童生徒アンケートによる「自分の考えは認められている」の肯定的評価を85%以上</li> </ul>								

